

佐田まちづくりだより

第135号



スマホでカラー版を
見ることが出来ます



第四回役員会開催

一二月一四日、役員会を開催しました。

主な議事は「米神山巨石祭」についてでした。

昨年、一昨年と新型コロナウイルスの影響を受け中止を余儀なくされた巨石祭。

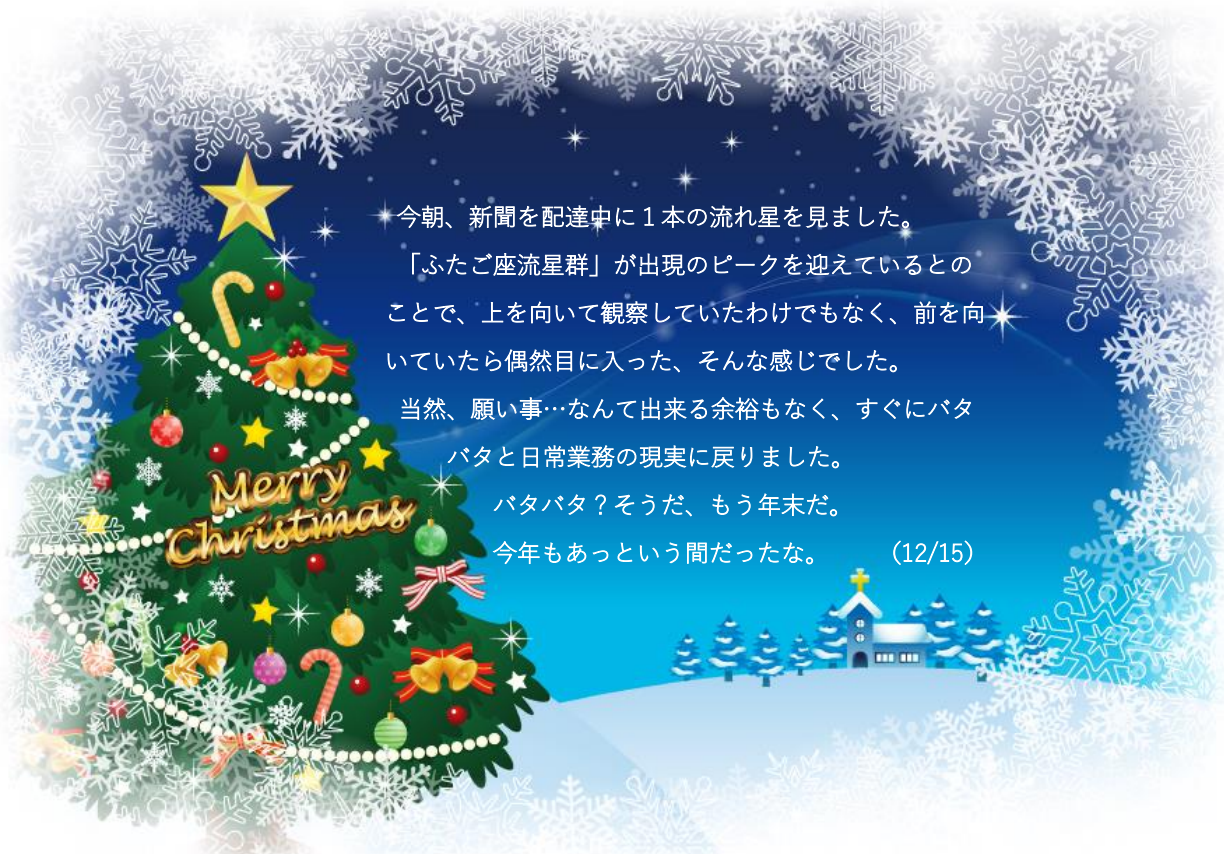
ここ最近は少し落ち着きを見せてきたことから、開催の是非については断然開催の流れに。

三年ぶりの開催に高揚感を覚えつつも、忍び寄るオミクロン株の影。

またコロナが猛威を振るえば中止もあり得るという条件の下での開催決定でした。

それでも今回こそは無事開催を…と願いながら議事を進めていきました。

詳細は来月中旬開催予定の、米神山巨石祭実行委員会。開催日は…



今朝、新聞を配達中に1本の流れ星を見ました。
「ふたご座流星群」が出現のピークを迎えているとのことで、上を向いて観察していたわけでもなく、前を向いていたら偶然目に入った、そんな感じでした。
当然、願い事…なんて出来る余裕もなく、すぐにバタバタと日常業務の現実に戻りました。
バタバタ？ そうだ、もう年末だ。
今年もあっという間だったな。(12/15)

実に3年ぶり 第31回米神山巨石祭

令和4年3月13日(日)

開催決定!!



祈 口口十完全収束 幸多き寅年に

古くは、木のこずえに神が宿ると考えられていたことから、門松は年神を家に迎え入れるための依り代という意味合いがあるそうである。今年も佐田地区公民館の玄関前、佐田小学校駐車場入り口に門松を造りました。



阿部善浩氏、搬出担当に佐藤宣幸広谷区長、北条協力隊員が加勢してくれました。

佐田会長が竹の頭を斜めに切ってもらいに行っている間に、周りを囲む竹作りを行い、あとは製作作業を残すだけにまで準備を整えました。

一月一日、安倍公民館長、斉藤前館長、北条隊長、小学校から阿南校長、四井教頭、出田先生に参加いただき、製作作業に取組みました。

斉藤前館長の指揮に基づき組み立てていきます。

「なるほど」「すごい」「おもしろい」

門松製作完了

「おもしろい」などワイワイとにぎやかに、そして着々と作業は進み、二対の門松は午前中には完成し、恒例となった午後からの小学児童による飾りつけを待つばかりとなりました。

そして、飾りつけの時間がやってきました。

公民館長、校長先生の挨拶の後、上級生が先導し、下級生の世話をしながら、全員で仲良く熊笹などを飾りつけ終え、くる年を迎える体制が完成しました。



校長先生のおはなし



只今、作業中



児童代表 お礼の言葉



表面にも書きましたが、いよいよ令和三年も終わろうとしています。

振り返ってみると、あつという間の一年間でした。

行事等はコロナ禍の影響を受け満足に活動できず、不完全燃焼で終わった感は否めません。

コロナも幾分落ち着いてはいるものの油断は出来ず、恐怖はぬぐえませんが、先ずは巨石祭の開催が決定し、明るい兆しが見えてきています。

佐田地区の皆さまの支えの上で成り立っているまち協、今年一年ありがとうございました。

くる年も変わらずご指導、ご協力をお願いいたします。

皆様にとつて幸多き一年となりますように。